

令和7年12月24日号

# 御幸が原小だより

～令和7年の締めくくり～



発行 宇都宮市立御幸が原小学校

校長 稲澤 正明

栃木県宇都宮市御幸ヶ原町 53-2

TEL 028-663-0358

e-mail mihara-e@ueis.ed.jp



学校 HP QRコード

朝晩の冷え込みが一段と厳しくなり、朝の校庭は所々霜で白くなっています。今年は、運動会が終わった頃から気温が下がり始め、あまり秋を感じることなく一気に冬がやってきたような気がしています。季節の急激な変化に例年以上に寒さを感じている今日この頃ですが、そんな中でも子供たちは、白い息を吐きながら元気に登校しています。これは、私とある児童との朝の門付近での会話です。Ⓜ「ねえ、上着なしで寒くないの？」Ⓜ「全然寒くないです。歩いていると汗をかくくらいです。」Ⓜ私はコートを着ていても寒いのに……。また、別な日には、Ⓜ「手袋なしで平気なの？」Ⓜ「平気です。」差し出された手を触ると本当に温かい。Ⓜ私は手袋をしていても指先が冷たいのに……。どちらの児童にも会話の最後に「血の巡りがいいんだね。とってもいいことだよ。」で締めくくり、このような何気ない会話からも、成長期の子供たちの体の中にあるエネルギーを感じます。

年末の風物詩となっている今年の世相を表す「漢字一文字」が清水寺で発表されました。2025年の漢字は、すでにご承知のことと思いますが「熊」でした。

私にとって、今年の御幸が原小を象徴する漢字一文字は「漲」です。音：チョウ、訓：みなぎる と読みますが、意味は「力や感情、気力などが心にみちあふれること。」だそうです。この漢字は、冒頭の子供たちの朝の会話だけでなく、みはらっ子たちの、学習・運動・放課後の各種活動の様子及び体の成長から感じたものです。

まずは学習場面でのしなやかな（柔軟な）心とスポンジのような吸収力。授業を参観していると、大げさではなく「今が、子供たちの心や頭の白いキャンバスに学習内容が描かれている瞬間だな」と感じられる場面に何度も出会えます。また、仲良しタイムや昼休み・放課後の元気な姿。大人であれば、疲労が後から来ることを気にしてしまいがちなところを、夢中になって全力で体を動かし、遊ぶ姿を毎日見ることが出来ました。この遊びの時間は、言うまでもなく子供にとっては楽しい大切な時間であり、大人側も大切にしていけるべき時間だと思っています。なぜなら、子供らしい遊びの中にはたくさんの学びがあるからです。（授業中の学びに対し、『無自覚の学び』と表現されることもあります。）体の成長（歯の生え変わりや身長伸びなど）も含め、みはらっ子たちは、このようにどの場面でもエネルギー満ちました。「子供であれば当たり前」という声が聞こえてきそうですが、子供時代のこの毎日の過ごす時間・経験の中にこそ、その子自身の価値観や社会性の土台が育まれていくのだと思っています。みはらっ子たちの内面から湧き上がるエネルギーを大切に、小学生時代を健やかに、そして、思い出深い毎日を過ごして欲しいと願いながら、今後もより楽しいと感じられる学校経営に教職員で一丸となって取り組んでまいります。

保護者や地域の方々には、授業参観・PTA活動・学校支援ボランティア活動等、今年一年大変お世話になりました。よい年をお迎えください。

## お弁当の日

「おにぎりの日」に続いて第二弾は「お弁当の日」です。12月12日（金）に実施しました。子供たちにはこの機会に、「食」と「お弁当作りの苦労と親の愛情」について考えるきっかけになって欲しいと思っています。ご協力をいただきありがとうございました。



## みはら伝統行事「長縄大会」

今年も本校が誇る伝統行事「長縄大会」を実施しました。子供たちと先生方のおかげで、今年もただの長縄大会ではなく熱い長縄大会となりました。本番での子供たちの集中力はたいへん素晴らしく、見ている教員側が何度も感激させられました。結果に関しては、上手くできたこともできなかったこともあったかと思いますが、練習を含め、すべてが学びだったと思っています。計画を立ててくれた運動委員の皆さんありがとうございました。



## レンコンの収穫

2年生が中庭の池で栽培したレンコンを収穫し、給食でいただきました。ご指導いただいた印南さん、毎年ありがとうございます。この取組はとちぎテレビでも放送していただきました。



## 昔遊び

1年生が12月3日(水)に長寿会の皆様方にお手伝いをいただき、昔遊び体験をしました。日本伝統の遊びを子供たちには継承して欲しいと願っています。



左から「おはじき・こま回し・羽子板・けん玉・お手玉」

## 校内研修

本校では授業力の向上を目指し、互いの授業を見せ合いながら定期的に校内研修に取り組んでいます。今年度のテーマは「一人一人を生かし、自己肯定感を高める指導の工夫 ～児童が主体的に学びに向かう授業のデザインを目指して～」とし、昨年度から2か年計画で宇都宮大学の先生を講師としてお招きして研修の充実を図ってきました。今回は、石井先生の授業を参観し、放課後に時間に研究協議を行いました。今後も互いに研鑽を積みながら授業力の向上に努めてまいります。

